

1. 評価結果概要表

作成日 平成21年1月9日

【評価実施概要】

事業所番号	3870103722		
法人名	(有)アイファミリー		
事業所名	グループホーム ファミリー		
所在地	愛媛県松山市北梅本町甲3264 (電話) 089-970-3381		
管理者	小田原 まりこ		
評価機関名	特定非営利活動法人 JMCS		
所在地	松山市千舟町六丁目1-3チフネビル501		
訪問調査日	平成20年12月16日	評価確定日	平成21年1月9日

【情報提供票より】 (平成20年11月30日事業所記入)

(1)組織概要			
開設年月日	平成15年6月24日		
ユニット数	2ユニット	利用定員数計	18人
職員数	10人	常勤	4人, 非常勤 6人, 常勤換算 10.0人
(2)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)			
家賃(平均月額)	32,000円	その他の経費(月額)	利用状況により異なる
敷金	有(円)	無	
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円)	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり	1,320円	
(3)利用者の概要 (平成20年11月30日現在)			
利用者人数	18名	男性 7名	女性 11名
要介護1	3名	要介護2	6名
要介護3	3名	要介護4	2名
要介護5	4名	要支援2	0名
年齢	平均 80.9歳	最低 57歳	最高 97歳
(4)他に事業所として指定等を受けている事業及び加算			
指定	あり・なし	指定介護予防認知症対応型共同生活介護	
指定	あり・なし	指定認知症対応型通所介護	
届出	あり・なし	短期利用共同生活介護	
加算	あり・なし	医療連携体制加算	

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

事業所では、食事作りに力を入れて取り組んでおられる。有機野菜や季節のもの、手作りのおやつ等、美味しいものを食べていただけるよう取り組まれている。
 事業所では、利用者に「元気になってもらえるようなかかわり」に気を付けておられる。調査訪問時、職員は、利用者に対してやさしく対応されていた。
 布を貼り、ティッシュカバーを作られたり、似顔絵をうまく描かれる方もいる。毎日暮を打つ方や、調査訪問時には、新聞のテレビ欄を見て今日の見物を教えてくださる方もうかがえた。
 職員は、利用者から政治についての話を聞くこともある。又、料理の味付けやこれまでの暮らしのこと等に耳を傾けておられる。

【質向上への取組状況】

<p>前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回の評価結果を受けて、地域とのかかわりを深めていけるよう取り組まれた。ふれあいサロンへの参加や地域の行事にも積極的に参加された。又、食事の栄養状況等、一目でわかるような表を作成された。
<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回、自己評価は、前回の外部評価結果をもとに、総括部長が中心になって作成された。
<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者の都合もあり、定期的な会議開催に至っていないようである。期間は空いたが、12月に開催した会議では、ご家族や民生委員の方も参加され、事業所についての感想等もいただいた。
<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議参加の案内を、全ご家族にされている。ご家族の来訪時には、細やかに意見を聞かれている。
<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・散歩時に、近所の方から声を掛けてもらったり、みかん等をいただくこともある。又、利用者のお友達が訪ねて来られたり、近所の方が、利用者と一緒に庭の水やりをしてくれることもある。

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

.理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

.サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 グループホーム ファミリー

(ユニット名) 1F・2F

記入者(管理者)
氏名 小田原 まりこ

評価完了日 平成 20年 11月 30日

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.理念に基づく運営					
1.理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	<p>(自己評価)</p> <p>季節感を大切にした家庭的な温かみのある生活・介護を心がけ、実践している。</p> <p>(外部評価)</p> <p>利用者の自立した生活を支援できるよう、「無理せず、あなたの出来ることをやりましょう。私達も、お手伝いしますから・・・」という理念が作られている。</p>		さらに、貴事業所が地域の中でどのようなことを目指して行くのかということを示し、実践につなげていかれてほしい。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	<p>(自己評価)</p> <p>利用者が快適な生活を送ることができるよう、理念について職員が定期的に話し合い意識を高めている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>共用空間等に、理念を掲示されている。</p>		日々のケアの実践につながるよう、話し合いの機会を増やし、職員全員が同じレベルになるようにしなければならない。
3		家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	<p>(自己評価)</p> <p>地域行事への参加を以前より積極的に行っている。地域の方が作られた野菜や果物などの頂き物が増えた。運営推進会議があまりできていないため、ご家族には面会時などホームを訪ねられた際には積極的に声をかけをし、必要に応じ、説明をしている。</p>		定期的な運営推進会議。地域行事へ積極的な参加。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 地域行事への積極的な参加により交流が増えたことで、ホームの認知度が高められ、地域の方の訪問やご近所で作られた野菜や果物等頂き物が増えた。		
5	3	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 地区の公民館で行われる盆踊り・展覧会への参加、地区の清掃への職員参加、秋祭りには神輿に来ていただく等地域行事へ参加している。 (外部評価) 散歩時に、近所の方から声を掛けてもらったり、みかん等をいただくこともある。又、利用者のお友達が訪ねて来られたり、近所の方が、利用者と一緒に庭の水やりをしてくれることもある。		さらに、事業所では、地域の方達も事業所に来てもらえるような機会を作りたいと考えておられる。イベント時に招待することも検討されていた。地域の方達との関係を、より一層深めていけるような取り組みが期待される。
6		事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) あまりできていない。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) ご指摘を受けた項目について全職員に報告し、改善について話し合いの場を持っている。 (外部評価) 前回の評価結果を受けて、地域とのかかわりを深めていけるよう取り組まれた。ふれあいサロンへの参加や地域の行事にも積極的に参加された。今回、自己評価は、前回の外部評価結果をもとに、総括部長が中心になって作成された。		今回、自己評価は、これまでの取り組みの振り返りと捉えておられた。今後の取り組みについては、評価結果を受けて検討することになっている。事業所自らの気付きは、サービスの質向上への最大の起点でもある。サービス評価の仕組みを活かして、職員個々の気付きを引き出し、さらなる取り組みにつなげていかれてほしい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 定期的な運営推進会議ができていなかったため、利用者やサービス・取り組みについて、報告や話し合いの場を持てていなかった。 (外部評価) 参加者の都合もあり、定期的な会議開催に至っていないようである。期間は空いたが、12月に開催した会議では、ご家族や民生委員の方も参加され、事業所についての感想等もいただいた。		定期的な運営推進会議の開催。 事業所では、今後、定期的な会議の開催をすすめ、たくさんの方に参加していただけるような日程や開催時間の検討、会議のすすめ方等について、工夫を重ねていきたいと考えておられた。地域の方々に事業所のことを知っていただき、「足を運んでもらえる」ような事業所を目指して、会議を活かしていきたいと話しておられた。
9	6	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価) 市の介護保険課、高齢福祉課には定期的に訪問しているが、来ていただく機会が少ない。 (外部評価) 運営推進会議の取り組みについて、他の事業所を見学に行くこと等、アドバイスいただいた。		市の介護保険課、高齢福祉課の方々と蜜に連絡を取りサービスの質の向上に努めたい。
10		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価) 必要と思われる方には、市へ相談を行うなど身体障害者手帳や生活保護の申請などを行っている。		
11		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 言葉の暴力等を含む虐待に関しては職員同士で注意し合う等し、気をつけている。管理者や統括部長はそのような状況が発生していないか、又、発生しないよう、日常の会話や接し方など日々確認し注意を払っている。また、職員は研修など勉強する機会を設け防止を心がけている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約時・解除時には担当職員が十分な時間取り、説明をし理解を得ている。		
13		運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 利用者よりの意見・苦情・不満などは管理者や統括部長が聞き、早急に検討・対応を心がけている。		
14	7	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 家族からの電話や、面会時に利用者の近況報告を行っている。年に4回「ファミリー便り」にイベント時の写真を添え、ご家族に送り近況報告をしている。		今後はホーム内行事にもご家族に積極的に参加していただくため、事前連絡を心がける。
			(外部評価) 「ファミリーだより」を季節ごとに作成し、事業所で行う行事等を写真入りで、ご家族に送っておられる。又、個別にもお手紙に写真を添えて、ご本人の事業所でのエピソード等を伝えておられる。利用者ご本人からもご家族に手紙を出し、返事をもらうこともある。		ご家族の知りたい情報を探り、報告の工夫を重ねていかれてほしい。又、遠方に住まわれているご家族へも、事業所に関心を持ってもらえるような報告や、又、楽しみになるような報告の工夫を重ねていかれてほしい。事業所では、食事の献立表等も、ご家族に報告することを考えておられた。
15	8	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 職員が家族から直接意見や苦情を聞いた場合、管理者や統括部長がその問題に対し、職員を交え、意見交換をし、早急に運営に反映させるようにしている。		今後は定期的に施設内での行事の案内や利用者の状況報告をし、家族と共に利用者をサポートしていきたい。
			(外部評価) 運営推進会議参加の案内を、全ご家族にされている。ご家族の来訪時には、細やかに意見を聞かれている。		現在、ご家族からの意見は少ないようである。例えば、事業所で作っている食事を一緒に食べる等、ご家族からサービスについて具体的に意見等をいただけるような機会作りや、働きかけの工夫が期待される。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 毎月2回、職員の勉強会を兼ね、意見交換を行っている。運営に関する職員からの意見や提案は経営者とも協議し、良いものは随時取り入れていっている。		
17		柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 行事などはシフトを調整し、利用者や家族の状況の変化に対応している。		
18	9	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 職員の離職はほとんどなく、利用者への影響は出ていないと思われる。離職者が出た場合の対応は、管理者や統括部長が主に対応している。		
			(外部評価) 職員が、2ユニット全利用者と同顔馴染みになれるような勤務体制が作られている。総括部長は、職員の悩み等を個別に聞く機会を設けておられる。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 職員のスキルアップを図るため、勤務時間内に行政や民間団体主催の研修や勉強会への参加に努めている。		
			(外部評価) 職員同士で困ったことを話し合われたり、接遇について先輩職員が新人職員にアドバイスされている。又、月に2日、勉強会が行われており、職員が持ち回りでテーマを決め、資料を揃え、勉強をされている。又、外部研修受講時には勉強会で報告されている。		さらに、年間の研修計画を作成する等、非常勤職員も含めて、すべての職員のレベルアップを図り、事業所のさらなるケアの質向上を目指していかれてほしい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価)		
			包括支援センターや市や県主催の勉強会や意見交換会へ積極的に出席している。意見交換をし、情報を集めている。		
			(外部評価)		
			総括部長や管理者は、他事業所の運営推進会議に参加されている。		さらに、他事業所とのネットワークを広げ、他事業所の取り組みを知るような機会を作ってはどうか。又、利用者や職員も交流できるような取り組みが期待される。
21		職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価)		
			総括部長が職員の相談窓口となり、不満や要望を聞き、状態の改善・不満の解消を行っている。		
22		向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価)		
			個々に応じた外部研修を行っている。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価)		
			十分な時間を取り、本人の不安や困っていることに対し納得いくまで聞くようにしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 相談をされた場合には、十分な時間を取っている。求められていることを相談時に十分把握し、理解するよう努めている。		
25		初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 利用者や家族の要望を聞き、情報も提供しつつ一緒に改善する努力をしている。		
26	12	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 職員はしっかり声かけをし、きめ細やかな対応をするよう心がけている。また、気の合いそうな利用者同士が楽しく過ごせる場を設けている。 (外部評価) 利用者からのサインを察知して、支援に努めておられる。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 職員は利用者の機能に応じてできること(配膳や洗濯物たたみ、畑仕事や花の手入れなど)を見極め、共に協力し互いに支え合えるような援助を心がけている。 (外部評価) 職員は、利用者から政治についての話を聞くこともある。又、料理の味付けやこれまでの暮らしのこと等に耳を傾けておられる。		事業所では、利用者個々に「生活意欲を持ってもらえるよう支援する」ことを目指しておられる。今後もさらに、利用者が自信を持って、意欲を高められるような、かかわり方の工夫を重ねていかれることが期待される。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 家族とこまめに連絡を取り、利用者の要望を伝え、利用者が快適に過ごせるよう家族と共に利用者を支えている。		
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 家族や利用者に配慮しながら必要に応じ助言や提案を行い、より良い関係を築けるよう努めている。		
30		馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 馴染みの人が気兼ねなく訪問でき、心地よく過ごせるようなホームを心がけている。また、馴染みの方との外出も家族と連絡を取りながら本人の希望に添えるよう支援に努めている。		
31		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 利用者同士の関係を把握し、コミュニケーションをとりにくい利用者には職員が間に立ち、うまく関わりを持てるよう援助している。		
32		関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 利用者本人や家族の想いを受け止め、いつでも立ち寄ってもらえるよう声かけをしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1.一人ひとりの把握					
33	14	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価)		
			日々の暮らしや会話の中でさりげなく、本人の意向や家族の希望等を聞き、ケアプランに反映させている。		
			(外部評価)		
			職員は「利用者の日々の生活をみて、ご本人のことを知る」ことに努めておられる。		さらに、日々の利用者とのかわりの中から得た情報を、蓄積していけるような仕組み作りや、それらの情報を共有し、日々のケアに活かしていかれることが期待される。身寄りのない方、ご家族からの意見が出にくい方についても、ご本人の思いを大切に支援していかれてほしい。
34		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価)		
			本人や家族から聞き取りをし、今までの生活歴の把握、日々の生活で見えてきたこと等を再度聞き取りし理解するよう努めている。		
35		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価)		
			介護記録を取ることで現状を把握し、さまざまな援助に努めている。		
2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価)		
			本人や家族から聞き取りをし、職員全員でカンファレンスを行い、それを元に介護計画を作成している。		
			(外部評価)		
			職員で話し合い、計画を作成されている。医師のアドバイスを受けて、計画に採り入れておられる。		さらに、「ご本人がより良く暮らす」ための介護計画作成についても工夫を重ねていかれてほしい。ご家族から具体的にご意見をいただけるような働きかけの工夫についても重ねていかれてほしい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価)		
			利用者の状態の変化があった時にはその都度、利用者本人・家族から聞き取りをし、ケアプランを作成している。		
			(外部評価)		
			3ヶ月毎の見直しとなっている。又、状態変化時には見直すようになっている。		
38		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)		
			介護計画は期間に応じて見直しをしている。利用者に変化があった場合には状態の把握をし家族や職員などから情報収集をし新たな計画を作成している。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価)		
			外泊や外出など希望された場合は送迎など本人や家族の状況に応じ柔軟に対応している。		
			(外部評価)		
			利用者が入院された時には、頻繁にお見舞いに行かれ、様子を見ておられる。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 民生委員さんには運営会議や地区の催し・サロン等でお世話になっている。消防訓練は消防署の方を交え定期的に訓練を行っている。		
41		他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 必要と思われる利用者の該当はありません。		
42		地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 必要と思われる利用者の該当はありません。		
43	18	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 利用者や家族の希望により往診や受診を行っている。夜間や急変時にも協力医の往診が可能である。		
44		認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 利用者の状態により協力医への相談や指示を仰いでいる。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 協力医の看護師と連携を取っている。非常勤で看護師も在籍しているので相談しながら支援をしている。		
46		早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 職員がこまめに面会に行き、主治医や病棟の看護師から状態を聞いている。		
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 看取りはしていない。利用者や家族、かかりつけの医師と相談し、利用者にとっての最善策を考えるようにしている。また、その情報を職員全員で共有している。 (外部評価) 事業所では、看取りは行わないことを決めておられ、ご家族に説明をされている。利用者が入院された時には、2ヶ月は居室を空けて待つようにされている。		「一日でも長くホームに居たい」というようなご本人ご家族の思いもあり、ご家族の心情も踏まえて、時々、これからのこと等についても話し合う機会を設けられたはどうか。
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 看取りはしていないので、ホームで「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医と相談をし、支持を仰ぎながら支援に取り組んでいる。		
49		住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 利用者の情報をまとめ、書面で移り住む先の施設へ情報を提供する。また、移り住んだ後も必要とあれば話し合いや情報交換を続け、住み替えによるダメージを防ぐよう努めている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1.その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1)一人ひとりの尊重</p>					
50	20	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価) 家族にも確認を取り、馴染みの呼び名で呼んだり、一人ひとりに合わせた声かけを行っている。記録等の個人情報は厳重に保管している。		
			(外部評価) 事業所では、利用者に「元気になってもらえるようなかわり」に気を付けておられる。調査訪問時、職員は、利用者に対してやさしく対応されていた。		時に、ご家族や運営推進会議の参加者等、外部の方からの気付きをいただけるような機会を作ってはどうか。又、車椅子の「T字ベルト」をされている方等も見受けられた。使用しなくてもすむような、工夫についての話し合いを続けていかれてほしい。
51		利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価) 本人が自己決定できる利用者については、本人の思いや希望に添えるケアをしている。また、本人に説明しても自己決定できにくい方については家族と相談し支援を考えている。		
52	21	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 本人の日々を観察し、今日はどんなことをして過ごしたいのか、どんな物を食べたいかなど聞き取りし、本人がしたいことを優先し楽しく過ごせるようにしている。		日々本人の希望などを聞き、確認しながら生活を支援していきたい。
			(外部評価) 利用者個々のペースで食事をされていた。調査訪問時、食後居室でひと休みされる方、ソファで新聞を読まれる方、テレビを見ている方等がうかがえた。		利用者一人ひとりの日々の過ごし方等について、「その人らしく暮らす」という視点から、支援に工夫できることがないか、職員で話し合われてみてはどうか。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 散髪や美容室など、行きたいと希望される方には行ってもらったり、美容室の方に訪問してもらい行っている。ホームでは職員が髪をセットして差上げるなどおしゃれに気をつけるようにしている。		
54	22	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 年間の行事に合わせて、メニューを作っている。食卓には季節の旬の食材を取り入れるよう努めている。自分で片付けのできる方には積極的にしてもらっている。 (外部評価) 事業所では、食事作りに力を入れて取り組んでおられる。有機野菜や季節のもの、手作りのおやつ等、美味しいものを食べていただけるよう取り組まれている。		さらに、食事の挨拶や、食事の内容を利用者が分りながら食事をできるような配慮等、職員のかかわり方の工夫が期待される。おいしい食事をさらに楽しむための取り組みを重ねていかれてほしい。
55		本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) おやつも季節のもので手作りを心がけている。利用者の食べられる状態に応じ、やわらかさ、甘さ、塩分など考えお出ししている。		
56		気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 一人ひとりの排泄パターンを把握し、日中はなるべくおむつを使わないよう気をつけている。また、食前には排泄を促し、気持ちよく食事が摂れるよう支援している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価)		
			(外部評価)	入浴は曜日や時間帯を決めているが、必ずしも絶対ではなく、その方の体の調子に合った入浴時間や入浴方法を心がけている。	
			2~3日毎に入浴するようになっている。現在、職員の介助が必要な方は、浴槽で温まるのがむづかしいようである。		さらに、今後、入浴の介助技術の習得や工夫を重ね、利用者が入浴をさらに楽しめ、くつろげるような支援をすすめていかれてほしい。
58		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価)		
			(外部評価)	その人の前日の睡眠具合や一日のリズムに合った昼寝等、気持ちよく眠れるよう支援している。	
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価)		
			(外部評価)	神社へのお参りや外食、サロンへの参加、季節の花が咲く時期のドライブ、また、利用者各人の得意としていること、例えば、絵を描く、将棋、書道、裁縫、洗濯物たたみ・アイロンかけなどその方に合わせ楽しむよう支援している。	
			布を貼り、ティッシュカバーを作られたり、似顔絵をうまく描かれる方もいる。毎日暮を打つ方や、調査訪問時には、新聞のテレビ欄を見て、今日の見物を教えてくださる方もうかがえた。又、日当たりの良い居間で、のんびりされている方もおられた。		男性の利用者等の出番作りや、利用者個々が「生活意欲を持ってもらえるような」支援について、利用者個々の生活歴を活かして、取り組みをさらに拡げていかれてほしい。
60		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)		
			(外部評価)	近くの無人販売所(果物)での小額での買い物など、小額は自分で管理し買い物できるようにしている。	

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			毎日最低1回は庭に出て草引きをしたり、花を摘んだりしている。また花見やドライブなど季節感を楽しむような外出を行っている。		外食や買い物など利用者の外出の機会をもっと増やしていきたい。
			(外部評価)		
			庭でお花を摘んで、ご家族のお位牌にお供えされる方もいる。		職員は「車椅子の方も外に出る機会を増やしたい」と話しておられた。利用者個々が、外に出かけたくなるような雰囲気作りの工夫も期待される。
62		普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			本人や家族の希望での外出は、体調が悪いときを除き自由に行ってもらっている。		
63		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			本人や家族の希望で電話をかけたり、手紙を書いたりなどやり取りが自由にできるようにしている。		
64		家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			利用者が電話を掛け、友人が訪問し自室内でお茶を飲んだり楽しい時間が過ごせるよう配慮している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 身体拘束をしないケアの実践として、身体拘束に対する理解を職員全員が同じレベルで持てるよう勉強会を行っており、身体拘束をしないケアを心がけている。		
66	26	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 全室鍵を掛けないようにしているが、利用者が鍵を掛けないと眠れないと訴えられる方は、自分で鍵を掛けてしまう。また玄関の鍵は夜間等見守りが難しい場合、徘徊される利用者がいる場合はやむえなく鍵を掛けることがあった。 (外部評価) 日中玄関には鍵を掛けておられない。		利用者の安全を重視するあまり鍵を掛けてしまうことがあったが、鍵を掛けないための職員の意識と鍵を掛けないためにはどうすべきか、しっかり考え取り組みたい。
67		利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) ほとんどの方が日中はリビングで過ごされているが、たまに自室で過ごされたりしている方は、定期的に声かけ、見守りをしている。		
68		注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 命に関わるような危険の伴う物については、事務所で厳重に保管・管理している。		
69		事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 研修会に参加するなどし、知識を深めている。		研修などで学んだことを定期的な勉強会の中で、事故を未然に防ぐための知識について、全職員が理解できるよう徹底指導を行う。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 事故発生時や急変時には医師へ報告し、指示を仰ぐなどし応急処置を行なっている。		全職員が応急手当や初期対応の訓練の講習に参加できる機会を増やしたい。
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 定期的な防火訓練を行い消防署員に講習をしてもらい防火や防災に関する知識を学んでいるが、訓練では地域の方が参加しての防火訓練ができていない。		地域の方に声かけをし、地域の方参加の防火防災訓練ができるようしたい。
			(外部評価) 年に2回、避難訓練を行っておられる。		さらに今後、消防署の協力を得て、救急救命の講習等も行いたいと考えておられた。
72		リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	(自己評価) 一人ひとりの状態に応じてその都度、家族に説明し意見交換を行い納得していただいている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 毎日のバイタルチェックで健康状態を把握し、記録している。異変時には上司に連絡し対応している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 利用者個人個人の薬の管理はホームで行っている。また処方箋は職員がいつでも効能や量など確認できるよう、決めた場所に保管し、利用者の薬が変わった場合には全職員に周知している。現在飲んでいる薬についても利用者各人の薬表を作り、すぐに確認できるようにしている。		
75		便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 毎日排便チェックをしている。一定の期間排便がない方には医師の指示に従い、便秘薬を服用していただいている。		
76		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 毎食後、声かけ誘導により口腔ケアを行っている。また、夕食後義歯をはずしていただくよう声かけをしている。口腔ケア後、口腔内のチェックをし、汚れや傷がないか確認している。		
77	28	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 食事量の把握や水分量はその都度チェックし記録している。また偏った食べ方をしている利用者には声かけをし、バランスよく食事が摂れるよう心がけている。 (外部評価) 前回の評価結果を受けて、食事の栄養状況等、一目でわかるような表を作成された。		
78		感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	(自己評価) 感染マニュアルを作成している。ノロウイルス対策としては、対策用の消毒やグッズを準備している。インフルエンザは本人、家族の希望により予防接種を行っている。また、毎年全職員がインフルエンザの予防接種をしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		<p>食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>調理器具は毎日漂白除菌、熱処理をしている。食材は新鮮なものを使用し、調理時にも職員がチェックしてから出している。</p>		
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p> <p>(1)居心地のよい環境づくり</p>					
80		<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>玄関前には畑があり、花や野菜を植えたりして親しみを持っていただけるよう工夫をしている。</p>		
81	29	<p>居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>季節に合わせた飾り付けをし、心地よく過ごせるよう努めている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>利用者が作成された習字や手芸品等が飾られていた。テレビの前にはソファが設置されている。畳の間には掘りごたつがある。</p>		
82		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>会話しやすいソファの配置やリビングに花を飾るなどくつろげる空間を心がけている。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)		
			入居時には本人と家族が相談し、馴染みのある物や家具等を持ってきてもらっている。		
			(外部評価)		
			じゅうたんを敷いておられる方や、ご家族の位牌を持って来られ、しきびやお花を供えておられる方もうかがえた。		さらに、居室について、窓からの冷氣、室温や湿度等、点検されてみてほしい。
84		換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価)		
			天候にも配慮しながら空気の入替えを行っている。各室冷暖房が完備されているので利用者に応じ、こまめな対応をしている。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)		
			利用者各人の身体機能に応じた生活の中でのリハビリを取り入れている。		
86		わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価)		
			利用者個人個人のわかる力により、本人の望んでいることや自立して暮らせる工夫を一緒に考えられている。わかる力の弱くなっている人については家族とも相談をし、家族の意向に添って支援している。		
87		建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価)		
			建物の外回りは花壇や野菜畑を作り楽しめるようにしている。		

. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんど掴んでいない	利用者一人ひとりと接することで、本人の思いや願い、生活歴などがほぼ理解できていると思う。利用者個人個人との対話や訴えなどを一対一で聞き、しっかり受け止めるようにしている。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ①毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	リビングで皆で歌を一緒に歌う、ことわざカルタや踊りなどをすることで、大声で笑ったり、利用者同士が助け合ったりすることが多い。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	それぞれの生活のリズムで暮らせている。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	日常会話や散歩・イベントなどではたくさんの笑顔が見られる。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	全員で出かけるということは難しいが、ユニットごとに日を変えて食事に出かけたり、数人ずつ買い物や散歩に行っている。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	月に1回は定期受診をしている。状態の変化により専門医への受診や急病時には協力医の往診を受けている。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	突然の利用者の友人の訪問や同行の外出、買い物へ行きたいなど、急な希望にも対応している。家族との外出も健康上問題ない場合は自由にしてもらっている。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (自己評価) ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	家族からの相談については時間を取り、しっかり聞き取りをし問題点や不安を取り除けるよう努めている。家族への報告・連絡・相談を怠らないようにしている。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ①ほぼ毎日のように 2 数日に1回程度 ③たまに 4 ほとんどない	地域の行事に参加する機会を増やすことで、地域とのつながりもできてきている。大学生のボランティアの訪問も増えた。入居者の家族は定期的に訪問してくださっている。

項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	(自己評価) ② 1 大いに増えている 2 少しずつ増えている 3 あまり増えていない 4 全くいない	運営推進会議は定期的にできていないが、地域のイベントに進んで参加することにより認知度が高まってきた。
98 職員は、生き活きと働けている	(自己評価) ① 1 ほぼ全ての職員が 2 職員の2/3くらいが 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者が入所時にできなかったことが、介助するうちに元気になっていかれたり、笑顔が見えてきたりと生活意欲が湧いてきたことを自分のことのように喜んで仕事に取り組んでいる。
99 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	(自己評価) ① 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	一人で外出したいという利用者さんの希望以外は概ね満足していただけていると思う。
100 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	(自己評価) ② 1 ほぼ全ての家族等が 2 家族等の2/3くらいが 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	利用者の家族が訪問された時の感謝の言葉や様子で概ね満足されていると思う。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

食事でお出ししている野菜のほとんどが無農薬の野菜です。食事は季節のものを積極的に取り入れ季節感の感じられる料理の提供ができています。毎日のおやつはほとんどが手作りです。おせち料理も手作りで利用者の方々に喜んでもらっております。季節感を大切に料理や素材のうまみを活かした料理は、利用者の食欲の増進や、昔に語り話が弾むなどプラスの効果が出ています。